

講義及び演習概要 (シラバス)

第1部課程第120期 (平成25年4月9日～平成25年9月4日)

課 目 名	スピーチ演習
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	話し方研究所会長 福田 健 <プロフィール> 中央大学法学部卒業 1967年 言論科学振興協会の話し方運動に参加 講師、指導部長、理事を歴任 1983年 (株)話し方研究所 所長 2004年 (株)話し方研究所 会長に就任 (株)話し方研究所講師 長崎 真紀子・小島 健二・島野 浩二・内田 賢司・菊池 雅彦 <プロフィール> 話し方研究所講師資格を取得後、現在にいたる
ね ら い	本演習では、話し方の基礎や留意点、心がまえ等の講義と、実際に簡単なスピーチを体験することで、人前での話し方の基本を学び、その要領を修得することをねらいとする。 1部課程での研修修了後、各自庁内で講義を担当するときに備える。
講 義 概 要	■講義 人前での話し方を支える「コミュニケーションの基本原則」 - まず相手を聞き手にする ◇ 最初のつかみ ◇ スタートの間と反応への対応 ◇ 「言う」と「話す」こと ※解説「スピーチの基本型」 - 徹底した準備が大事 ◇ 話す10倍の情報を収集する ◇ 内容を絞り込む ◇ 構成一組み立てをしっかり - 聴衆分析 ◇ 聞かれ方を考える ※解説「スピーチのスタートの心得」 ◇ 聴衆の本質と特性 ◇ 変化に対応する - コミュニケーションの目的と効果 ◇ 目標と目的 ◇ 目的に対応した機能の活用 (結び) コミュニケーション活性化の条件

演 習 概 要	人前での話す力の土台になるのが、「スピーチスキル」である。 演習を通してスピーチのスキル向上をめざす。 <解説> 1. スピーチの基本型 (聴衆の反応をつかむ・ポイントを絞り込む・アイコンタクトの仕方) 2. スピーチの構成 (講義内容の多角的検討・内容から表現へ・具体的に話すー具体化のポイント) 3. 実習のすすめ方 <実習> 1. (事前準備あり) 3 分間スピーチ (小グループ内で) 2. (事前準備なし) 1 分間スピーチ (全体の前で)
受講上の注意	・実習の 3 分間スピーチについては、以下の①～③の項目から 1 つテーマを選択し、事前に内容を考え、準備をしておいてください。 ① 格言や諺(ことわざ)を引用した話 ② 一定の場面を想定した挨拶(研修会や説明会の冒頭の挨拶、人事異動の挨拶等) ③ 最近感動したことについての話 ※実習の 1 分間スピーチについては、研修当日、講師がテーマを発表します。
使 用 教 材	・『上手な「聞き方・話し方」の技術』 福田 健(ダイヤモンド社) ・テキスト「スピーチコース」(話し方研究所)
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	